

経営比較分析表（令和4年度決算）

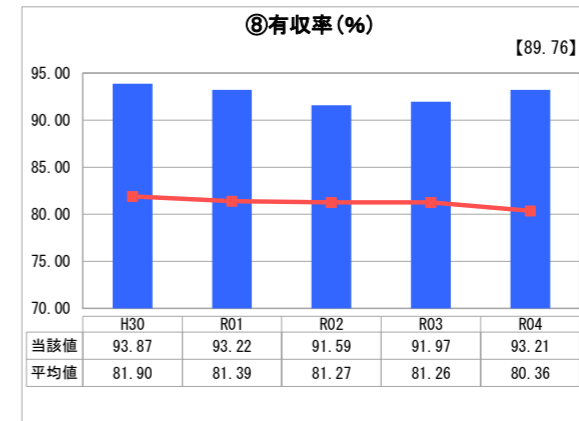
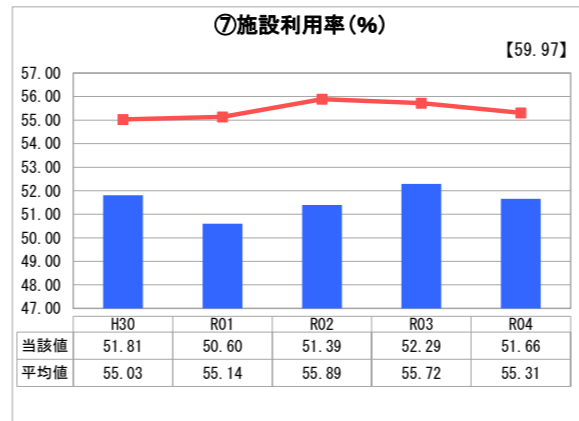
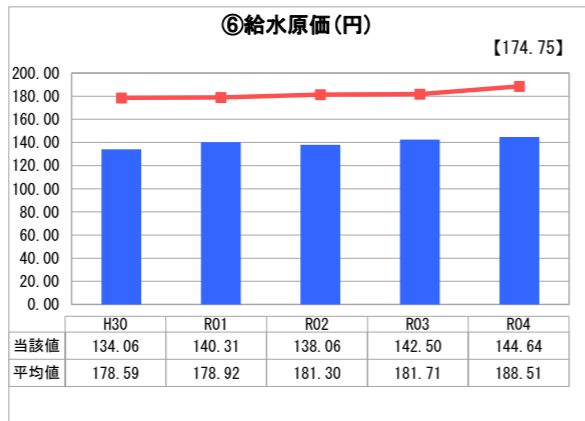
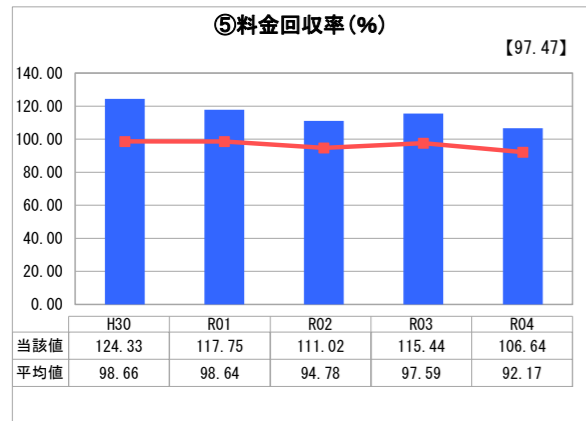
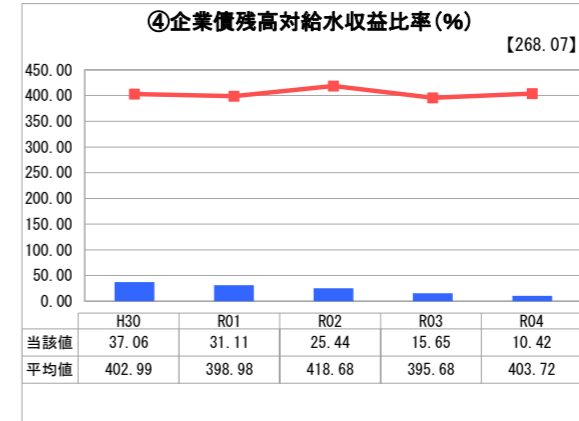
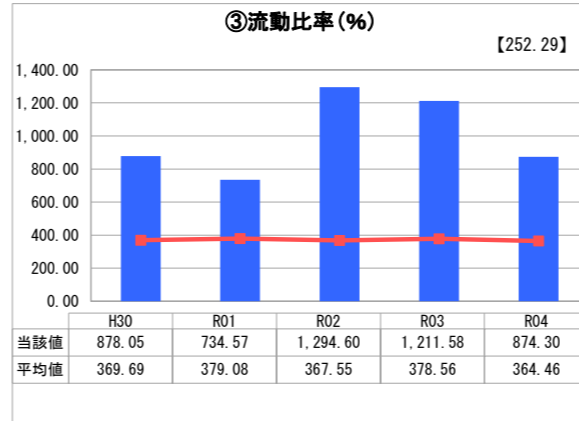
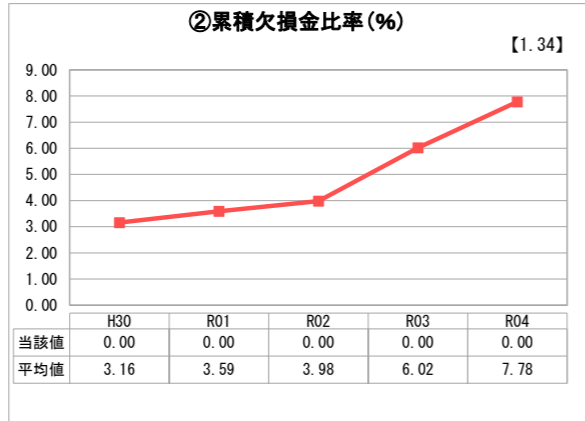
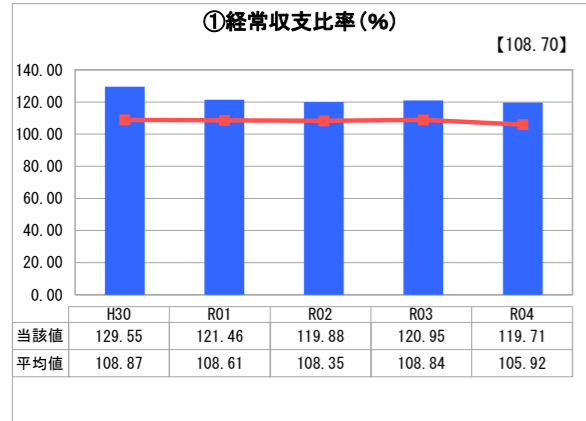
埼玉県 嵐山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	89.40	99.91	1,897	

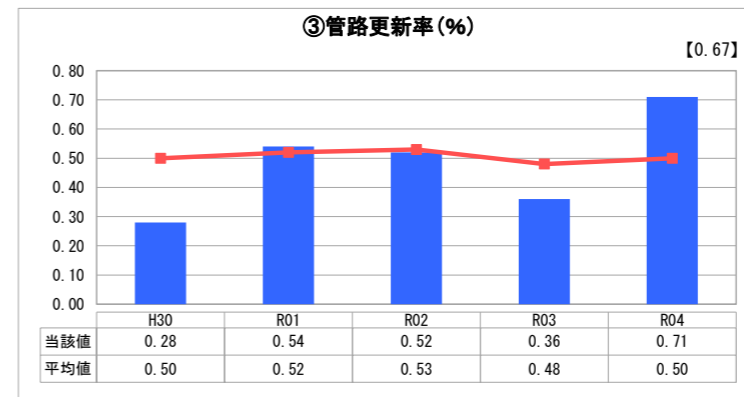
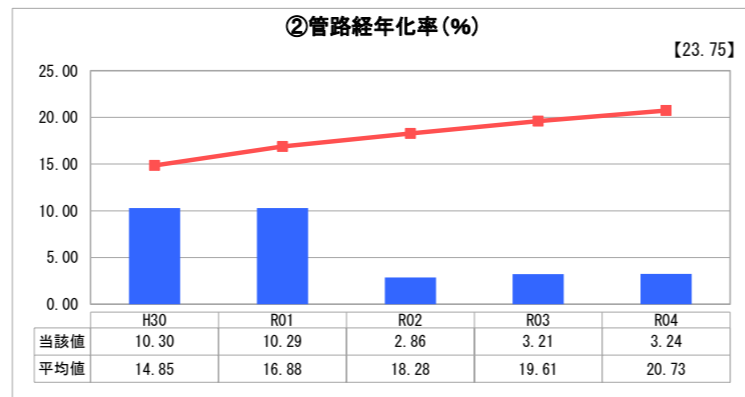
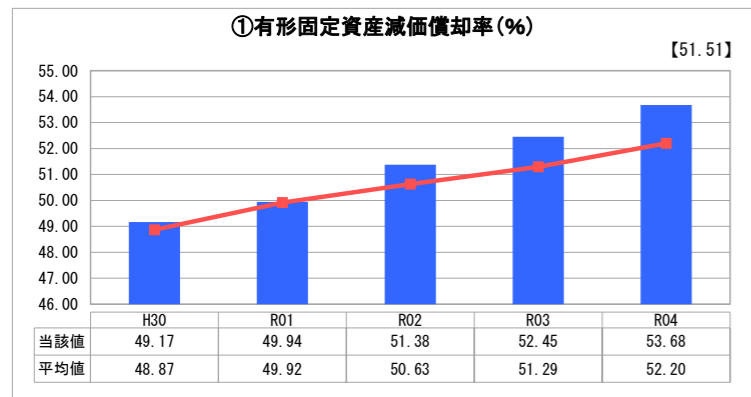
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,596	29.92	588.10
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,477	29.85	585.49

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
前年比1.24ポイント減少しましたが、依然として比率は類似団体平均及び全国平均を大きく上回ることができています。この状況の維持に努めます。
- ② 累積欠損金比率
該当数値無し。
- ③ 流動比率
短期債務に対する支払い能力を示していますが、類似団体平均及び全国平均を大きく上回っており、現在の経営状況は良いと判断できます。
- ④ 企業債残高対給水収益比率
順調に返済を続けているため、この数値も減少を続けていますが、今後の老朽施設更新等に伴い増加の見込みです。
- ⑤ 料金回収率
前年度比8.8ポイント減少しましたが、類似団体及び全国平均を上回っております。今後も適切な料金収入の確保に努めます。
- ⑥ 給水原価
給水に関する製造単価であり、効率的な運営により低い値を維持できています。
- ⑦ 施設利用率
昨年度比0.63ポイント減少しました。依然として類似団体平均値及び全国平均を下回っており、施設規模の再検討が必要となっています。
- ⑧ 有収率
類似団体及び全国平均を大きく上回っております。今後一層の数値上昇を目指します。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
施設の老朽化は年々進んでおりますが、類似団体及び全国平均と同程度となっております。将来世代に必要な資産を引き継いでいけるよう、今後も適切な施設の更新を検討してまいります。
- ② 管路経年化比率
管路の老朽化は年々進んでおりますが、類似団体及び全国平均よりも良好な状態と判断できます。今後も計画的な更新に努めます。
- ③ 管路更新率
前年度比0.35ポイント上昇しました。類似団体及び全国平均をやや上回っており、今後も計画的な更新を進めてまいります。

全体総括

当町の水道事業は、昭和38年の簡易水道開始以来、水道法の目的を目指し、清浄にして豊富低廉な水の供給に努めてまいりました。

現在当町では、嵐山町第2次水道事業基本計画や平成30年度策定の嵐山町水道事業経営戦略に基づき効率的な経営に努め、昨年度に引き続き健全性や効率性は順調に推移しております。

しかしながら、将来の給水人口・給水量減少や施設管路の更新・耐震化に備える必要があることから、今後は経営戦略策定後の水需要動向や施設整備・更新の必要性を踏まえ経営戦略の改定を実施するとともに、水道事業における経営のさらなる経営の効率化を推進してまいります。

これらの施策により、当町の水道事業の目標であります、安全・安心・安価で豊富な水を将来に向かって安定して送り届けることができますよう邁進してまいります。